

大槌町通学路交通安全プログラム 開催報告

1 開催スケジュール

	日時	内容	備考
第1回	6月8日	・吉里吉里学園の通学路を合同で点検。 ・通学路の危険箇所や気になった箇所について質問・意見を頂き、対策について協議。 ・登下校時の事故防止や防犯対策のために必要と思われる設備について協議。	※実施済
第2回	8月29日	・大槌学園の通学路を合同で点検。 ・通学路の危険箇所や気になった箇所について質問・意見を頂き、対策について協議。 ・登下校時の事故防止や防犯対策のために必要と思われる設備について協議。	※実施済

2 日時

平成30年6月 8日(金) 14:40~16:45

平成30年8月29日(水) 14:40~17:20

3 場所・会場

(1) 合同点検：吉里吉里学園通学路

大槌学園通学路

(2) 合同協議：中央公民館第1会議室

4 参加者

(1) 第1回

大槌交番所長、釜石警察署交通規制課長、吉里吉里派出所長、三陸国道事務所釜石維持出張所長・管理第一係長・管理第三係長、沿岸広域振興局道路整備課長、大槌学園副校長・生徒指導主事、吉里吉里学園小学部副校長、吉里吉里学園中学部生徒指導主事、大槌学園PTA会長、吉里吉里学園PTA会長、吉里吉里学園小学部PTA会長、吉里吉里学園中学部PTA会長、吉里吉里公民館分館長、環境整備課主事・技師、町民課行政専門員・主任、教育委員会学務課長・教育相談員・指導主事

(2) 第2回

大槌交番所長、釜石警察署生活安全課長・交通規制係巡查、吉里吉里派出所長、三陸国道事務所釜石維持出張所管理第三係長、沿岸広域振興局道路整備課長・技師、大槌学園副校長・生徒指導主事、吉里吉里学園小学部副校長、吉里吉里学園中学部生徒指導主事、大槌学園PTA会長、大槌町防犯協会長・副会長、枉内町内会長、放課後子供教室コーディネーター、環境整備課主事・技師、町民課主任、保健福祉課主事、教育委員会学務課長・教育相談員・指導主事

5 吉里吉里学園から示された危険箇所および合同点検時に指摘のあった危険箇所に関して

(1) 吉里吉里学園小学部から 45 号線に向かう屯所前の T 字路 (町道)



昨年も「カーブミラーを設置してほしい」という要望を受けて点検した箇所。



実際に見てみると、屯所が奥まっているため、見通しは決して悪くなく、カーブミラーは必要ないのではないかという意見が大勢を占めた。

(2) 吉里吉里学園小学部から降りた 45 号線の交差点 (国道 45 号線)



昨年も「児童が国道にせり出さないようにフットスタンプ等の目印を入れてほしい」という要望を受けて点検した箇所。電柱をなくす工事を実施するため、砂利のままになっている。



砂利のままなのは電柱をなくす工事を 30 年度末に行った後歩道を整備する。その際、フットスタンプを設置する。

(3) セブンイレブン前の交差点 (国道 45 号線)



信号機がないため、釜石方面から来る車両が右折する際に歩行者に気付かず接触する恐れがある。



町内会と交通安全協会により横断旗と横断旗入れを設置していただいたが、信号機が必要。



釜石警察署が歩行者用信号設置を上申。学校でも引き続き注意喚起をしていく。

(4) 吉里吉里2丁目（郵便局周辺）の交差点（町道）



「止まれ」等の表示や標識も整備されているが、交差点が多いため、出会いがしらの事故が心配される。



学校からも児童生徒に指導するほか、地域としても「ゾーン 30」を検討していく。釜石警察署も交通状況等の情報を収集していく。

6 大槌学園から示された危険箇所および合同点検時に指摘のあった危険箇所に関して

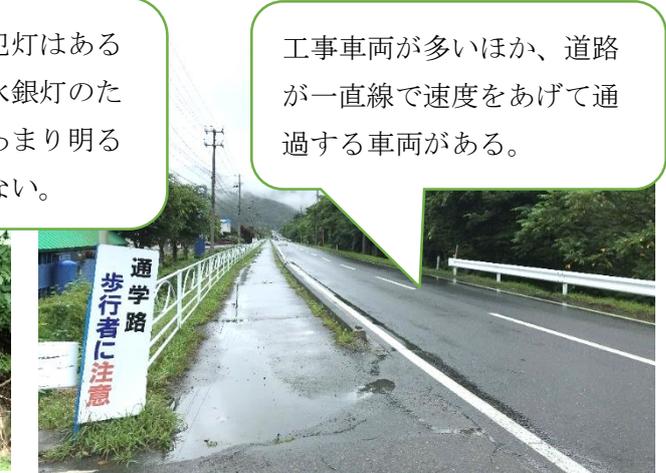
(1) 国道26号線(柎内地区)及び八幡神社前



神社前の木の枝が伸びて、視界が悪いほか暗さの原因となっている。



防犯灯はあるが水銀灯のためあまり明るくない。



工事車両が多いほか、道路が一直線で速度をあげて通過する車両がある。

- ・街灯の種類をLEDに替えた。
- ・伸びていた木の枝を伐採。
- ・柎内橋から株式会社山千付近まで(550m)を40km/h区間を延長するよう釜石警察署が上申。

(2) 子ども教育センター(OLA I)から放課後児童クラブ、きらり商店街前交差点まで(町道)



歩車分離ブロックはあるものの、車両が50km/h以上出して通行している様子が見られた。



歩道から国道45号方面に渡る横断歩道が無く、保安員がない場合の横断が心配される。



「T字路から大槌学園行きの町道に右折する際の停止レーンが離れていて、県道側、町道側双方から見えづらくて危険である。」という地域の方のご指摘を受けて点検。



放課後児童センター前の道路は坂道になっている様子を確認した。児童が坂を駆け下りる飛び出しが心配される。



- ・通学児童生徒に対して学校からの安全指導及び注意喚起を行う。
- ・インターチェンジの完成による車の流れの変化も見極めて「ゾーン30」を地域でも検討。
- ・「県道が優先」ということを、地域の集まりなどがあつた際に周知していく。

(3) だあすこ前交差点（県道26号線）



旧県道26号線の部分が残ри（だあすこ側が新県道26号線）バリケードがあるものの、それが撤去された際にブロックやライン等がないと、車両と歩行者との接触事故等の恐れがある。



- ・振興局が間違つて侵入しないように侵入防止ブロックを設置。

(4) 三枚堂大ヶロトンネル出口周辺 (町道)



児童アンケートで「大ヶロの空き家が怖い」の記述があったため点検。空き家の草が生い茂っていた。



大ヶロトンネル出口付近は、緩い下り坂になっていて、スピードを出したままトンネルを出てくる車があることが予想される。



- ・町内会で引き続き草を刈る。
- ・防犯のため、空き家の情報を共有していく。
- ・地域や学校、警察でトンネル出口の速度への注意喚起を行う。